

## 第5回 中山町学校の将来構想検討委員会 次第

日時 令和6年9月27日(金)  
16時～17時30分

会場 中山町中央公民館 第1会議室

### 1 開会

### 2 教育長あいさつ

### 3 講話およびグループ討議・発表

#### (1) 講話 「義務教育学校について」

講師 最上広域市町村圏事務組合教育研究センター所長  
(新庄市立明倫学園 前校長)

#### (2) グループ討議・発表

### 4 諸連絡

### 5 閉会

第4回の検討委員会で、「義務教育学校」についてもっと知りたいという意見が多く出されました。それらを受けて新庄市立明倫学園前校長から「義務教育学校」について講話をいただき、グループ討議を行いました

- ・義務教育学校のよさという視点から大変勉強になった。保護者、地域を含めて期待や不安があったと思われる。
- ・今回は義務教育学校のメリットという視点からの話なので分かりやすかった。例えば「今度、義務教育学校になるんだろう」って話が出た時にスクールバスが不要くらい地域が広がる。その時に地域の人におらだの学校と思ってもらうために地域とのつながりをどうするかということも考えていかなければいけない。
- ・中山町ではどうなるか比べながら聞いたが、メリットが多いと感じた。メリットしかないなら早く統合をととも思ったが、そこまでいくには道筋も必要。
- ・住民の方に分かってもらうことは簡単でなくて周知の工夫をしていく必要もある。6年生に小学校の卒業証書がないことなど、大人側の気持ちで「えー」となることもあるのではないか。
- ・今日の講話を伺って新しい「義務教育学校」という形があり、子ども達にとってとてもよいということを感じた。
- ・人数が減ったから義務教育学校にするでは、言い訳でしかない感じがしてならない。義務教育学校っていいんだ。では、町で進めようとなった場合に説明をどう進めていき、総意を得るかが課題になる。